

項目	12 県立ふじのくに国際高等学校の開校に向けた取組について
答弁者	教育長
質問要旨	<p>一人一人の学習スタイルやニーズを尊重し、新時代に対応した教育を実現することで、地域貢献できる人材育成を目指すという理念のもと、来年4月にふじのくに国際高校が開校する。</p> <p>多様な進路希望に対応するため、商業、家庭、体育、芸術等の専門教育に関する選択科目を用意するなど、個別最適な学習機会を提供すること、志太榛原地区の豊かな自然環境や観光資源を活用した探究的な学びの展開を特色として挙げている。また、多部制単位制導入により、生徒の学びや学校外活動との両立を目指せることは、個々の学習スタイルの尊重につながり、学校に関心を持つ生徒がいると思う。</p> <p>一方で、多くの生徒や保護者にとって進学の一つの選択肢として広く認知されるためには、その魅力や特色が多くの生徒や保護者に伝わっていることが重要である。</p> <p>特に、国際バカロレア教育を令和8年度に導入することとしており、人材育成の観点から期待が大きいですが、その授業がどのような体制のもと、どのように展開される予定なのか、県民の関心は高いと思われる。</p> <p>そこで、ふじのくに国際高校の魅力や特色が中学生や保護者に対し、どのように認知されているか、また、国際バカロレア教育が生徒に対してどのように行われる見通しなのか県教育委員会の見解を伺う。</p>

<答弁内容>

県立ふじのくに国際高等学校の開校に向けた取組についてお答えいたします。

予測不可能な社会の到来が叫ばれる今、子供たちの可能性を信じ、時代をたくましく生き抜く人を育てることが、我々教育関係者の使命だと強く感じております。ふじのくに国際高校はこれを果たすべく、多様で自由な多部制単位制の学校として、来年4月に開校いたします。

時間割を自分で組み立てられる、服装が自由など、様々な特色がありますが、学びにおいては、私が最も重視する探究学習を軸に思考力を養い、他者と協働して課題解決につなげる力を育てる「探究モデル校」として、県立学校各校をけん引するトップランナーを目指しております。

ふじのくに国際高校の魅力や特色を伝える機会として、中学生及び保護者対象の高校説明会をこれまで5回開催したところ、延べ1,400人を超える参加があり、関心の高さと期待の大きさが感じられます。参加した皆様からは「多様で自由な学校の雰囲気がとても良い」「この高校で探究の授業を受けたい」などの感想が寄せられ、新しい高校の魅力が徐々に認知されつつあるものと認識しております。

議員御指摘の国際バカロレア教育は、海外大学にも進学可能な資格の取得ができるプログラムであり、現在、令和8年度からの導入に向けて準備を進めております。その目的は、多様な文化の理解と尊重の精神を通じた、より良い世界の構築に貢献する

国際的な視野を持った若者の育成であり、その学習の中心は「探究的な学び」であります。

国際バカロレアの授業は対話的手法で行い、全て英語で行う科目も設定いたします。答えが一つとは限らない「問い」について、知識を掘り下げ一人ひとりが答えを探究する活動を通して、自分なりのものの見方や他人との違いを認識できるよう促します。今年6月に協定を締結した静岡大学とも連携し、これまでにはない探究的な学びの機会を生徒に提供してまいります。

県教育委員会といたしましては、ふじのくに国際高校の開校や国際バカロレア教育の導入を通じ、高校教育の価値観を変えるような大きな変革につなげ、未来を力強く生きる「有徳の人」を育成してまいります。

以上であります。